

■ ビジネスキャリア学科

1 教育課程（カリキュラム） ビジネスキャリア学科の教育課程（カリキュラム）は、以下のとおりです。

科目区分	授業科目の名称	授業回数	履修年次				単位数			
			1年		2年		必修	選択	自由	
			前期	後期	前期	後期				
教養教育分野	人間と文化	日本語表現法	15	○				1		
		英語	15	○				1		
		中国語	15				○		2	
		韓国語	15			○			2	
	人間と社会	法律入門	15	○				2		
		現代の社会	15				○	2		
	人間と科学	情報処理	15	○				1		
		スポーツ科学	15	○					2	
	教養教育分野 計							7	6	
	専門教育分野	基礎科目	人間関係論	15		○				2
心理学			15			○			2	
ホスピタリティ論			15	○						2
プレゼンテーション演習			15		○			2		
情報処理応用演習			15		○			2		
地域連携概論			15			○				2
ビジネスマナー			15	○				2		
民法			15			○				2
金融リテラシー入門			15	○				2		
基幹科目		経済学	15		○			2		
		会計学	15			○		2		
		経営学	15	○				2		
		現代企業論	15		○			2		
		ビジネス実務総論	15			○		2		
		ビジネス法務入門	15				○			2
		税金入門	15			○				2
		社会保障論	15			○				2
		ビジネス文書実務	15				○			2
		秘書実務Ⅰ	15		○					2
展開科目		秘書実務Ⅱ	15			○				2
		情報テクノロジー	15		○					2
		DX経営論	15		○					2
		データサイエンス入門	15			○				2
		情報処理実務	15				○			2
		メディアデザイン論	15	○						2
		広告デザイン演習	15		○					2
		メディアコンテンツ演習	15			○				2
		基礎簿記	15	○						2
		上級簿記Ⅰ	15		○					2
		上級簿記Ⅱ	15		○					2
		簿記演習Ⅰ	15		○					2
		簿記演習Ⅱ	15			○				2
		医療事務入門	15	○						2
		診療報酬請求演習Ⅰ	15		○					2
		診療報酬請求演習Ⅱ	15			○				2
		レセコン演習	15				○			2
		コミュニケーション心理	15	○						2
		ビジネス心理	15			○				2
		ビジネスコミュニケーション	15				○			2
		ビューティビジネス論	15				○			2
		マーケティング	15	○						2
		広告論	15				○			2
		流通論Ⅰ	15		○					2
		流通論Ⅱ	15		○					2
		スポーツビジネス論	15			○				2
		公務員対策Ⅰ	15	○						2
公務員対策Ⅱ		15		○					2	
公務員対策Ⅲ	15		○					2		
公務員対策演習Ⅰ	15			○				2		
公務員対策演習Ⅱ	15			○				2		
専門教育分野 計							18	82		
演習分野	演習科目	インターンシップと地域企業研究	15		○					1
		基礎キャリア形成	15	○				1		
		数理基礎Ⅰ	15	○				1		
		数理基礎Ⅱ	15		○			1		
		実践キャリア形成Ⅰ	15		○			1		
		実践キャリア形成Ⅱ	15			○				1
		社会人基礎力演習Ⅰ	15		○			1		
		社会人基礎力演習Ⅱ	15			○		1		
		ゼミナールⅠ	15		○					1
		ゼミナールⅡ	15			○				1
		ゼミナールⅢ	15				○			1
		演習分野 計							6	5
	総計（卒業要件62単位以上）							31	93	

Ⅲ 履修について

2 卒業要件

卒業には、次の要件を満たさなければなりません。

(1) ビジネスキャリア学科に2年以上在学すること

- 休学期間は在学期間を含めません。
- 在学期間は4年を超えることができません。

(2) 卒業に必要な単位を修得すること。

必修科目31単位及び選択科目31単位以上、合計62単位以上を「教養教育分野」、「専門教育分野」及び「演習分野」から以下のとおり修得すること。

教養教育分野	(必修) 7単位 (選択) 2単位以上
専門教育分野	(必修) 24単位
演習分野	(選択) 29単位以上
卒業要件：62単位以上	

3 卒業要件充足に伴う学位

ビジネスキャリア学科の所定の単位を修得し卒業要件を満たすと、短期大学士（ビジネスキャリア学）の学位が与えられます。

■ 観光ビジネス学科

1 教育課程（カリキュラム）

観光ビジネス学科の教育課程（カリキュラム）は、以下のとおりです。

科目区分	授業科目の名称	授業回数	履修年次				単位数			
			1年		2年		必修	選択		
			前期	後期	前期	後期				
教養教育分野	人間と文化	日本語表現法	15	○				1		
		英語Ⅰ	15	○				1		
		東北学	15			○		2		
		歴史と文化	15				○	2		
	人間と社会	法律入門	15			○		2		
		現代の社会	15				○	2		
		コミュニケーション論	15		○			2		
	人間と科学	情報処理	15	○				1		
		数理リテラシー	15	○				1		
専門教育分野	基礎科目	経営学入門	15	○				2		
		マーケティング	15		○			2		
		観光概論	15	○				2		
		観光ビジネス論	15		○			2		
		国内観光地理	15	○				2		
		国際観光論	15			○		2		
		観光史と観光文化	15				○	2		
		実践文章作成演習	15		○				1	
		フィールドワーク概論	15		○				2	
		金融リテラシー入門	15				○		2	
		基幹科目	英語Ⅱ	15		○			1	
			観光ビジネス英会話	15			○		2	
			ビジネスマナー	15	○				2	
	情報機器演習		15		○			1		
	展開科目	旅行ビジネス実務	15			○			2	
		エアラインビジネス実務	15	○					2	
		エアラインサービス	15	○ (集中)					2	
		鉄道ビジネス実務	15		○				2	
		宿泊ビジネス実務	15	○					2	
		ホテル・プライダルサービス	15		○				2	
		ホテル経営	15			○			2	
		プライダルビジネス実務	15	○					2	
		ウェディングプライダル演習	15			○			1	
		秘書実務	15		○				2	
		旅と文学	15			○			2	
		テーマパークビジネス	15				○		2	
		旅行業法	15	○					2	
		旅行業約款	15	○					2	
		国内運賃・旅費計算	15	○					2	
		国内観光資源	15			○			2	
		旅行業務演習	15	○ (集中)					1	
		海外観光地理	15				○		2	
		旅程管理	15	○ (集中)					2	
		東南アジアの言語と文化	15			○			2	
		韓国語会話Ⅰ	15		○				1	
		韓国語会話Ⅱ	15			○			1	
		中国語会話Ⅰ	15			○			1	
		中国語会話Ⅱ	15				○		1	
		フランス語会話	15				○		1	
		英会話基礎	15	○					1	
英会話応用		15		○				1		
観光英語		15	○					1		
TOEIC 演習		15		○				1		
おもてなし英語		15				○		2		
観光英語ガイド基礎		15			○			2		
観光インターンシップ		—	○ (集中)					1		
海外研修		—	○ (集中)					1		
演習分野	演習科目	基礎キャリア形成ゼミ	15	○				1		
		実践キャリア形成ゼミ	15		○			1		
		初年次ゼミ	15	○				1		
		観光研修Ⅰ	15		○			1		
		観光研修Ⅱ	15			○		1		
		観光ゼミⅠ	15		○			1		
		観光ゼミⅡ	15			○		1		
		観光ゼミⅢ	15				○	1		
総計（卒業要件62単位以上）							42	58		

Ⅲ 履修について

2 卒業要件

卒業には、次の要件を満たさなければなりません。

(1) 観光ビジネス学科に2年以上在学すること。

- 休学期間は在学期間を含めません。
- 在学期間は4年を超えることができません。

(2) 卒業に必要な単位を修得すること。

必修科目42単位及び選択科目20単位以上を「教養教育分野」「専門教育分野」「演習分野」の中から以下の通り修得すること。

科目区分		単位数
教養教育分野		(必修) 14単位
専門教育分野	基礎科目	(必修) 14単位 (選択) ※1
	基幹科目	(必修) 6単位
	展開科目	(選択) ※2
演習分野	演習科目	(必修) 8単位
卒業要件：62単位以上		

※1 ※2 「基礎科目」「展開科目」の選択科目を合わせて20単位以上修得する

3 卒業要件充足に伴う資格と学位

観光ビジネス学科の所定の単位を修得し卒業要件を満たすと、短期大学士（観光ビジネス学）の学位が与えられます。

Ⅲ 履修について

■ 現代英語学科

1 教育課程（カリキュラム）

現代英語学科の教育課程（カリキュラム）は、以下のとおりです。

科目区分	授業科目の名称	授業回数	履修年次				単位数			
			1年		2年		必修	選択		
			前期	後期	前期	後期				
教養教育分野	人間と文化	日本語表現法	15	○				1		
		World Mythology	15			○		2		
		歴史と文化	15				○	2		
	人間と社会	心理学	15		○				2	
		法律入門	15				○	2		
		現代の社会	15			○		2		
		Critical Thinking	15		○			2		
	人間と科学	情報処理	15	○				1		
		数理リテラシー	8		○			1		
専門教育分野	専門基礎科目	Oral Communication I	15	○				1		
		Oral Communication II	15		○			1		
		Listening I	15	○				1		
		Listening II	15		○			1		
		Reading I	15	○				1		
		Reading II	15		○			1		
		Grammar I	15	○				1		
		Grammar II	15		○			1		
	専門展開科目	Oral Communication III	15			○		2		
		Oral Communication IV	15				○		2	
		Listening III	15			○		2		
		Listening IV	15				○	2		
		Reading III	15			○		2		
		Reading IV	15				○	2		
		Business Communication	15			○		2		
		Essay Writing	15				○	2		
		Business Writing	15				○	2		
		Speaking Skills I	15	○					2	
		Speaking Skills II	15		○				2	
		Extensive Reading	15		○				2	
		English for Tourism	15			○		2		
		Chorus English	15	○					2	
		English through Plays	15			○			2	
		英米文学概論	15			○		2		
		英語史概論	15				○		2	
		Vocabulary Building	15		○				2	
		Teaching English to Children	15			○			2	
		British Studies	15			○			2	
	American Studies	15			○			2		
	International Studies	15				○		2		
	海外研修	集中		○				2		
	関連科目	ビジネスプロトコール	15	○				2		
		秘書実務	15		○				2	
		観光ビジネス論	15				○		2	
		エアラインサービス	集中		○				2	
		フランス語 I	15		○				1	
		フランス語 II	15			○			1	
	演習分野	演習科目	キャリア形成演習 I	15	○				1	
			キャリア形成演習 II	15		○			1	
			基礎ゼミ	15	○				1	
			TOEIC I	15		○				1
			STEP I	15		○				1
TOEIC II			15			○			1	
STEP II			15				○		1	
総計（卒業要件62単位以上）							38	48		

2 卒業要件

卒業には、次の要件を満たさなければなりません。

(1) 現代英語学科に2年以上在学すること。

- 休学期間は在学期間を含めません。
- 在学期間は4年を超えることができません。

(2) 卒業に必要な単位を修得すること。

必修科目38単位及び選択科目24単位以上、合計62単位以上を「教養教育分野」「専門教育分野」「演習分野」から修得すること。

科目区分		単位数
教養教育分野		(必修) 13 単位
専門教育分野	専門基礎科目	(必修) 8 単位
	専門展開科目	(必修) 12 単位 (選択) ※ 1
	関連科目	(必修) 2 単位 (選択) 4 単位以上
演習分野		(必修) 3 単位 (選択) ※ 2
卒業要件：62 単位以上		

※ 1 ※ 2 「専門展開科目」「演習分野」の選択科目を合わせて20単位以上修得する。

3 卒業要件充足に伴う資格と学位

現代英語学科の所定の単位を修得し卒業要件を満たすと、短期大学士(英語)の学位が与えられます。

Ⅲ 履修について

言語聴覚学科

1 教育課程（カリキュラム）

言語聴覚学科の教育課程（カリキュラム）は、以下のとおりです。

科目区分	授業科目の名称	授業回数	履修年次						単位数				
			1年		2年		3年		必修	選択	自由		
			前期	後期	前期	後期	前期	後期					
教養教育分野	人間と文化	日本語表現法	15	○						1			
		英語Ⅰ	15	○						1			
		英語Ⅱ	15		○					1			
		英文抄読	15			○				1			
		基礎英会話	10					○		1			
	人間と社会	歴史と文化	10	○						1			
		現代の社会	10	○						1			
	人間と科学	暮らしの中の法律	10		○					1			
		大学生活論	15		○					1			
		情報処理	15		○					1			
		統計学	15			○				1			
		健康スポーツ学Ⅰ	15			○				1			
健康スポーツ学Ⅱ		10					○		1				
専門教育分野	基礎医学	医学概論	15	○						1			
		病理学	15	○						1			
		解剖学	15	○						1			
		生理学	15		○					1			
		臨床医学	内科学	15			○				1		
			臨床神経学	15			○				1		
			小児科学	15		○					1		
			精神医学	15			○				1		
			リハビリテーション医学	15			○				1		
			耳鼻咽喉科学	15			○	○			1		
			形成外科学	15			○				1		
		臨床歯科医学	臨床歯科医学・口腔外科学	15		○					1		
		音声・言語・聴覚医学	呼吸発声発語系の構造・機能・病態	15	○						1		
			聴覚系の構造・機能・病態	15	○						1		
			神経系の構造・機能・病態	15	○						1		
	心理学	臨床心理学	15		○					1			
		生涯発達心理学	15			○				1			
		神経心理学	15				○			1			
		心理測定法	15			○				1			
		福祉心理学	15			○				1			
		認知・学習心理学	15	○						1			
		心理学系総論	15						○	1			
		言語学	言語学	15		○					1		
			日本語文法学	15						○	1		
		音声学	音声学	15	○						1		
	音声表記・分析学		15		○					1			
	音響学	音響学	15		○					1			
		聴覚心理学	15		○					1			
	言語発達学	言語発達学	15		○					1			
		言語発達学	15		○					1			
	社会福祉・教育	社会保障制度・関係法規	15			○				1			
		リハビリテーション論	15			○				1			
		言語聴覚障害学の基礎	15	○						1			
	専門展開科目	言語聴覚障害学総論	言語聴覚障害学総論	15			○				1		
			言語聴覚障害学総論	15				○			1		
			言語聴覚障害学臨床応用	15					○		1		
			失語症概論	15		○					1		
		失語症・高次脳機能障害学	高次脳機能障害概論	15		○					1		
			失語症・高次脳機能障害Ⅰ	15		○					1		
			失語症・高次脳機能障害Ⅱ	30			○				2		
			高次脳機能系総論	15					○		1		
		言語発達障害学	言語発達障害Ⅰ	15		○					1		
			言語発達障害Ⅱ	30			○				2		
			脳性麻痺・運動発達の障害	15		○					1		
			学習障害・発達障害	15		○					1		
発声発語・嚥下障害学	拡大・代替コミュニケーション	15			○				1				
	音声障害	15			○				1				
	器質性・機能的構音障害	15			○				1				
	運動障害性構音障害Ⅰ	15		○					1				
	運動障害性構音障害Ⅱ	30			○				2				
	吃音概論	15			○				1				
	摂食嚥下障害Ⅰ	15		○					1				
	摂食嚥下障害Ⅱ	30			○				2				
	成人・小児の聴覚障害	15	○						1				
	聴能・発語訓練演習	15				○			1				
聴覚障害学	聴力検査	15		○					1				
	視覚聴覚二重障害・重複障害	15		○					1				
	補聴器・人工内耳	15			○				1				
	聴覚障害学総論	15					○		1				
	音と聴力	15						○	1				
	臨床実習	臨床実習Ⅰ（見学実習）	1週		○					1			
		臨床実習Ⅱ（評価実習）	3週				○			3			
		臨床実習Ⅲ（総合実習前期）	4週					○		4			
		臨床実習Ⅳ（総合実習後期）	4週					○		4			
		専門独自科目	自然科学概論	15	○						1		
生命科学の基礎	15						○		1				
口腔顔面の感覚・運動障害総論	15						○		1				
地域リハビリテーション論	15						○		1				
認知症のリハビリテーション	15						○		1				
神経の診かた	15				○				1				
動作分析の基礎	15				○				1				
疾病論	15						○		1				
口腔衛生論	15					○			1				
リハビリテーション栄養学	15						○		1				
保険診療・介護保険制度	15				○				1				
視覚言語論	15						○		1				
補綴・補装具論	15						○		1				
言語聴覚学特別講義Ⅰ	30						○			2			
言語聴覚学特別講義Ⅱ	30						○			2			
総計（卒業要件98単位以上）									96	5	4		

2 卒業要件

卒業には、次の要件を満たさなければなりません。

- (1) 言語聴覚学科に3年以上在籍すること。
 - 休学期間は在学期間を含めません。
 - 在学期間は6年を超えることができません。

- (2) 卒業に必要な単位を修得すること。

必修科目96単位及び選択科目2単位以上、合計98単位以上を「教養教育分野」及び「専門教育分野」から以下のとおり修得すること。

単位区分		単位
教養教育分野		(必修) 13単位
専門教育分野	専門支持科目	(必修) 31単位
	専門展開科目	(必修) 44単位
	専門独自科目	(必修) 8単位 (選択) 2単位以上
卒業要件：98単位以上		

3 卒業要件充足に伴う資格と学位

言語聴覚学科の所定の単位を修得し卒業要件を満たすと、言語聴覚士国家試験の受験資格を得られるとともに、短期大学士（言語聴覚学）の学位が与えられます。

歯科衛生学科

1 教育課程（カリキュラム）

歯科衛生学科の教育課程（カリキュラム）は、以下のとおりです。

科目区分	授業科目の名称	授業回数	履修年次						単位数			
			1年		2年		3年		必修	選択		
			前期	後期	前期	後期	前期	後期				
教養教育分野	人間と文化	日本語表現法	15	○						1		
		英語Ⅰ	15			○				1		
		英語Ⅱ	10					○		1		
		医療手話	10						○	1		
	人間と社会	法律入門	15	○						2		
		現代の社会	15		○					2		
		コミュニケーション演習	10		○					1		
	人間と科学	心理学	10	○							1	
		情報処理	15	○						1		
		化学	10	○							1	
	スポーツレクリエーション	10						○		1		
専門支持科目	人体の構造と機能	解剖学	15	○						2		
		生理学	15	○						1		
		組織発生学	10	○						1		
	歯・口腔の構造と機能	口腔解剖学	20		○					2		
		口腔生理学	15		○					2		
		歯牙解剖学	10		○					1		
	疾病の成り立ちと回復	病理学	15		○					1		
		微生物学	15		○					1		
		薬理学	15		○					1		
		栄養学	10	○						1		
		生化学	10			○				1		
	健康と予防に関わる人間と社会の仕組み	一般臨床医学	10					○		1		
		衛生学・公衆衛生学	15	○						1		
		口腔衛生学	30		○					2		
		地域保健・保健統計	20			○				2		
		衛生行政・社会福祉・社会保障	20			○				2		
		人間関係論	10					○			1	
	専門教育分野	歯科衛生士概論	歯科衛生士概論	15	○						2	
		臨床歯科医学	歯内療法学	10		○					1	
			保存修復学	10		○					1	
歯周療法学			15				○			1		
歯科補綴学			15			○				1		
口腔外科学			15			○				1		
歯科矯正学			15			○				1		
小児歯科学			15			○				1		
高齢者口腔保健学			10			○				1		
障害者口腔保健学			10				○			1		
歯科放射線学			15			○				1		
口腔衛生管理			10					○			1	
歯科予防処置論		歯科予防処置法	30		○					2		
		う蝕予防処置法（臨床基礎）	10			○				1		
		歯周病予防法（臨床基礎）	30				○			2		
		う蝕予防処置法（臨床応用）	10					○		1		
		歯周病予防法（臨床応用）	20						○	2		
歯科保健指導論		保健指導論	15	○						1		
		保健指導演習Ⅰ（臨床基礎）	15		○					1		
		保健指導演習Ⅱ（臨床応用）	30				○			2		
		保健指導演習Ⅲ（臨床総合）	30					○		2		
		口腔リハビリテーション論	10				○			1		
		口腔リハビリテーション演習	10					○			1	
歯科診療補助論		歯科診療補助法（基礎知識）	20	○						2		
		歯科診療補助演習Ⅰ（基本技術）	20		○					2		
		歯科診療補助演習Ⅱ（臨床技術）	30				○			2		
		歯科診療補助演習Ⅲ（臨床総合）	20					○		2		
		感染予防法	10	○						1		
		臨床検査法	10				○			1		
		救急法・救急蘇生法	15						○	1		
	介護技術の基礎	15				○			1			
実習	審美歯科演習	10						○		1		
	臨地実習Ⅰ（臨床基礎）	集中		○					4			
	臨地実習Ⅱ（臨床応用）	集中				○			8			
	臨地実習指導（臨床応用）	15				○			1			
	臨地実習Ⅲ（臨床総合）	集中						○	8			
特別科目	臨地実習指導（臨床総合）	15						○	1			
	歯科衛生研究法Ⅰ（臨床基礎）	15					○			1		
	歯科衛生研究法Ⅱ（臨床応用）	15						○		1		
総計（卒業要件100単位以上）										93	9	

Ⅲ 履修について

2 卒業要件

卒業には、次の要件を満たさなければなりません。

(1) 歯科衛生学科に3年以上在学すること。

- 休学期間は在学期間を含めません。
- 在学期間は6年を超えることができません。
- 学長が特別な事情であると認める場合を除き、同一学年に2年を超えて在学することはできません。

(2) 卒業に必要な単位を修得すること。

必修科目93単位及び選択科目7単位以上、合計100単位以上を「教養教育分野」及び「専門教育分野」から修得すること。

【卒業要件100単位以上のうち規定されている93単位】

科目区分		単位数
教養教育分野（必修）		10単位
専門教育分野	専門支持科目	(必修) 22単位
	専門展開科目	(必修) 61単位

3 卒業要件充足に伴う資格と学位

歯科衛生学科の所定の単位を修得し卒業要件を満たすと、歯科衛生士国家試験の受験資格が得られるとともに、短期大学士（歯科衛生学）の学位が与えられます。

救急救命学科

1 教育課程（カリキュラム）

救急救命学科の教育課程（カリキュラム）は、以下のとおりです。

科目区分	授業科目の名称	授業回数	履修年次				単位数				
			1年		2年		必修	選択	自由		
			前期	後期	前期	後期					
教養教育分野	人間と文化	日本語表現法	15	○				1			
		英語	15		○			1			
	人間と社会	現代の社会	15		○			2			
		法律入門	15		○			2			
	人間と科学	情報処理	15		○			1			
		数理リテラシー	15			○		1			
専門基礎科目	人体の構造と機能	解剖生理学	8	○				1			
		人体構造と機能Ⅰ	8	○				1			
		人体構造と機能Ⅱ	8	○				1			
		人体構造と機能Ⅲ	8	○				1			
	疾患の成り立ちと回復の過程	薬理学	8	○				1			
		病理学	8		○			1			
		微生物学	8		○			1			
		法医学	8				○	1			
	健康と社会保障	社会保障論	8		○			1			
		地域福祉論	8			○		1			
	専門教育分野	救急医学概論	医学概論	10	○				1		
			救急救命医療概論	20	○				2		
			救急救命処置概論	20		○			2		
			感染症と災害医療	10				○	1		
救急症候・病態生理学		救急病態生理学	20	○				2			
		救急症候学Ⅰ	20	○				2			
		救急症候学Ⅱ	20		○			2			
		救急症候学Ⅲ	20		○			2			
疾病救急医学		疾病救急医学Ⅰ	20	○				2			
		疾病救急医学Ⅱ	20	○				2			
		疾病救急医学Ⅲ	20		○			2			
		疾病救急医学Ⅳ	20		○			2			
外傷救急医学		外傷学Ⅰ	20	○				2			
		外傷学Ⅱ	20		○			2			
環境障害・急性中毒学	環境障害・急性中毒学	10			○		1				
臨地実習	救急救命シミュレーションⅠ	75	○				5				
	救急救命シミュレーションⅡ	75		○			5				
	救急救命シミュレーションⅢ	75			○		5				
	救急救命シミュレーションⅣ	75				○	5				
	臨床実習	20日				○	4				
	救急用自動車同乗実習	5日				○	1				
総計（卒業要件70単位）							70	-	-		

Ⅲ 履修について

2 卒業要件

卒業には、次の要件を満たさなければなりません。

- (1) 救急救命学科に2年以上在籍すること。
 - 休学期間は在学期間を含めません。
 - 在学期間は4年を超えることができません。

- (2) 卒業に必要な単位を修得すること。

必修科目70単位を「教養教育分野」及び「専門教育分野」から以下のとおり修得すること。

単位区分		単位
教養教育分野		(必修) 8単位
専門教育分野	専門基礎科目	(必修) 10単位
	専門展開科目	(必修) 52単位
卒業要件：70単位		

3 卒業要件充足に伴う資格と学位

救急救命学科の所定の単位を修得し卒業要件を満たすと、救急救命士国家試験の受験資格を得られるとともに、短期大学士（救急救命学）の学位が与えられます。

また、救急救命学科において「社会保障論」「地域福祉論」「医学概論」の単位を修得し卒業することで、社会福祉主事任用資格を取得することができます。社会福祉主事任用資格は、地方公務員として社会福祉の増進に携わる際等に求められる任用資格です。資格取得のための手続きや資格証等はなく、学業成績証明書および卒業証明書をもって、社会福祉主事の資格要件を満たしている旨を証明することになります。

2 卒業要件

卒業には、次の要件を満たさなければなりません。

(1) 栄養学科に2年以上在学すること。

- 休学期間は在学期間を含めません。
- 在学期間は4年を超えることができません。

(2) 卒業に必要な単位を修得すること。

必修科目62単位及び選択科目2単位以上、合計64単位以上を「教養教育分野」及び「専門教育分野」から以下のとおり修得すること。

科目区分		単位数
教養教育分野		(必修) 8単位 (選択) 2単位以上
専門教育分野	専門支持科目	(必修) 12単位
	専門基礎科目	(必修) 17単位
	専門展開科目	(必修) 19単位
	実践科目	(必修) 6単位
卒業要件：64単位以上		

3 卒業要件充足に伴う資格と学位

栄養学科の所定の単位を修得し卒業要件を満たすと、栄養士の資格を取得できるとともに、短期大学士（栄養学）の学位が与えられます。

1 教育課程（カリキュラム）

こども学科の教育課程（カリキュラム）は、以下のとおりです。

科目区分	授業科目の名称	授業回数	履修年次				単位数			
			1年		2年		必修	選択		
			前期	後期	前期	後期				
教養教育分野	人間と文化 ※3単位必修	英語Ⅰ	15	○				1		
		英語Ⅱ	15		○			1		
		日本語表現法	15	○				1		
		人間と社会 ※6単位必修	日本国憲法	15	○				2	
			現代の社会	15	○				2	
			法律入門	15		○			2	
		人間と科学 ※4単位必修	体育基礎	8	○				1	
			体育実技	15		○			1	
			情報処理Ⅰ	15	○				1	
			情報処理Ⅱ	15			○		1	
			レクリエーション論	8	○					1
	専門教育分野	幼児教育の基礎 ※4単位以上選択	幼児と環境	15	○					2
		幼児と健康	8		○				1	
		幼児と表現	15	○					2	
		幼児と人間関係	8		○				1	
基礎技能 ※2単位以上選択		音楽表現Ⅰ	15	○					1	
		音楽表現Ⅱ	15		○				1	
		音楽表現Ⅲ	15			○			1	
		造形表現	15		○				1	
		総合表現演習Ⅰ	15		○				1	
		総合表現演習Ⅱ	15			○			1	
教育及び保育の本質 ※6単位必修		教職論	15		○				2	
		保育原理	15		○				2	
		教育原理	15	○					2	
		社会福祉	15	○					2	
教育及び保育の制度 ※2単位以上選択		教育制度論	8	○					1	
		子ども家庭福祉	15	○					2	
		社会的養護Ⅰ	15		○				2	
教育及び保育の対象理解 ※3単位必修		子ども理解の理論と方法	15	○					1	
		生涯発達心理学Ⅰ	15		○				2	
		生涯発達心理学Ⅱ	15			○			2	
		乳児保育Ⅰ	15			○			2	
教育及び保育の計画と方法 ※12単位必修		カリキュラム論	15			○			2	
		保育内容の指導法（総論）	15	○					1	
		保育内容の指導法（健康）	15			○			1	
		保育内容の指導法（人間関係）	15			○			1	
		保育内容の指導法（環境）	15		○				1	
		保育内容の指導法（言葉）	15		○				1	
		保育内容の指導法（表現）	15			○			1	
		特別支援教育演習Ⅰ	15		○				1	
		特別支援教育演習Ⅱ	15			○			1	
		乳児保育Ⅱ	15			○			1	
		教育相談	15			○			1	
		教育方法論	15			○			2	
		社会的養護Ⅱ	15			○			1	
		子どもの保健	15		○				2	
		子どもの健康と安全	15			○			1	
		家庭支援論	15			○			2	
		子どもの食と栄養	30			○			2	
		子育て支援	15			○			1	
総括科目		保育・教職実践演習（幼稚園）	15			○	○		2	
実習		保育実習Ⅰ（保育所）	集中			○			2	
		保育実習Ⅰ（施設）	集中			○			2	
	保育実習指導Ⅰ	15			○			2		
	保育実習Ⅱ	集中				○		2		
	保育実習指導Ⅱ	15			○			1		
	保育実習Ⅲ	集中				○		2		
	保育実習指導Ⅲ	15				○		1		
	教育実習Ⅰ	集中		○				1		
	教育実習指導Ⅰ	10		○				1		
	教育実習Ⅱ	集中			○			3		
	教育実習指導Ⅱ	15			○			1		
	ゼミナール	基礎演習Ⅰ	30		○				2	
基礎演習Ⅱ		30			○			2		
総計（卒業要件62単位以上）								38	55	

※本学では「保育実習Ⅱ」と「保育実習指導Ⅱ」を履修することができる。

Ⅲ 履修について

2 卒業要件

卒業には、次の要件を満たさなければなりません。

(1) こども学科に2年以上在学すること

- 休学期間は在学期間を含めません。
- 在学期間は4年を超えることができません。

(2) 卒業に必要な単位を修得すること

必修科目38単位及び選択科目24単位以上、合計62単位以上を「教養教育分野」及び「専門教育分野」から修得すること

ただし、卒業要件となる62単位以上のうち、46単位については、下表に定める科目区分ごとの単位数を修得しなければなりません。

※資格取得に必要な単位は、卒業に必要な単位とは別に規定されています。履修規程を参照してください。

【卒業要件62単位以上のうち規定されている46単位】

科目区分		単位数
教養教育分野		(必修) 13単位
専門教育分野	幼児教育の基礎	(選択) 4単位
	基礎技能	(選択) 2単位
	教育及び保育の本質	(必修) 6単位
	教育及び保育の制度	(選択) 2単位
	教育及び保育の対象理解	(必修) 3単位
	教育及び保育の計画と方法	(必修) 12単位
	ゼミナール	(必修) 4単位

3 卒業要件充足に伴う学位

こども学科の所定の単位を修得し卒業要件を満たすと、短期大学士（こども学）の学位が与えられます。